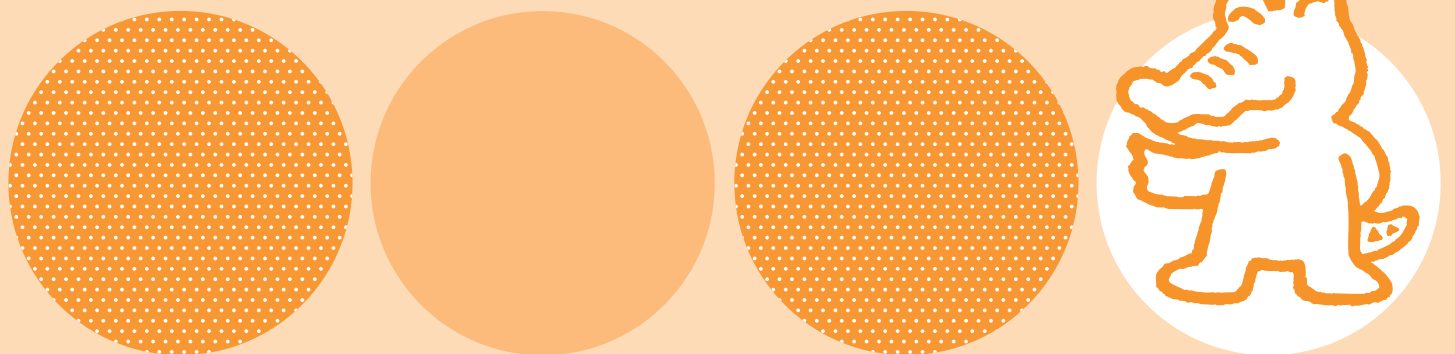
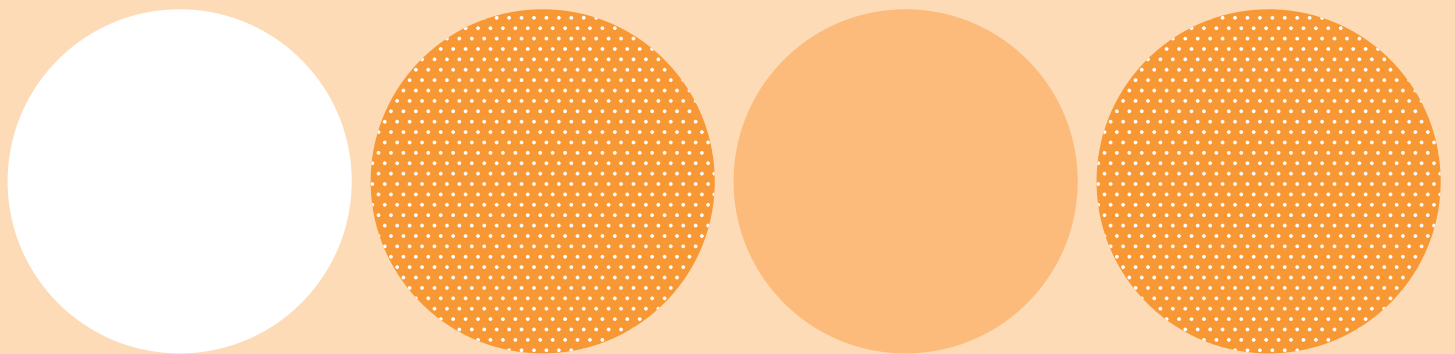


平成24年度版

発見つるみ!

～データでみる鶴見区～



はじめに

区民の皆さまには、日頃より、区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。

鶴見区は、昭和2年に誕生して以来、臨海部の産業の発達とともに、住宅地と商業地が発展し、平成24年10月現在、市内18区中3番目に人口の多い、約28万人を擁するまちへと成長いたしました。現在、鶴見区では「笑顔と元気の輪が広がるまち『つるみ』」を合言葉に、更なる発展を目指しています。

本書は、鶴見区に関する統計データを中心とした、鶴見区の特徴をまとめております。これまでの鶴見、そして、これからの鶴見を考えていただく際の資料として、御活用いただければ幸いです。

最後に、発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

平成24年10月

鶴見区長 山崎 幹夫

目次

1 鶴見区のプロフィール

- 区の歩みと現状・誕生・地勢 1
- 略年表 2
- 鶴見区主な指標 3

2 人口

- 人口の動向 4
- 年齢別人口の状況 5
- 外国人住民 7
- 流出人口・流入人口・昼夜間人口 8
- 労働力人口・就業状況 8

3 産業

- 事業所 9
- 商業 10
- 工業 11

4 暮らしと環境

- 住宅・消防 12
- 交通・犯罪 13
- 環境 14
- 区民フェスティバル 15
- 市税・戸籍 16
- 生活保護・子育て 17
- 健康・選挙 18

コラム～鶴見駅開業140周年～ 19

つるみマップ 20



～ご利用にあたって～

※ 構成比、総数の合計については、端数を四捨五入しているため、必ずしも内訳計と一致しない場合があります。

鶴見区のプロフィール

区の歩みと現状・誕生・地勢



鶴見区シンボルマーク
平成3年2月14日制定

区制施行: 昭和2年10月1日

〒230-0051

鶴見区鶴見中央三丁目20番1号

TEL: 510-1818 (総合案内)

FAX: 510-1889

- 面積: 32.38km² (平成24年10月1日現在)
- 人口: 276,027人 (")
- 世帯数: 126,789世帯 (")
- 区民の花: サルビア (平成3年11月制定)
- 区の木: サルスベリ (平成9年10月制定)
- マスコット: ワックン (昭和63年1月制定)



区の歩みと現状

鶴見区は市の北東部に位置し、昭和2年10月1日、横浜市の区制施行により誕生しました。「鶴見」の名は鎌倉時代の史料からも現れており、源頼朝がこの地で鶴を放ったという伝説からその名がついたという説もありますが、「ツル」は「鶴」とは関係なく水路や河川の周辺の地を、「ミ」は「まわり、めぐり」を意味する語で、「ツルミ」は蛇行している鶴見川の地形を表しているという説もあります。

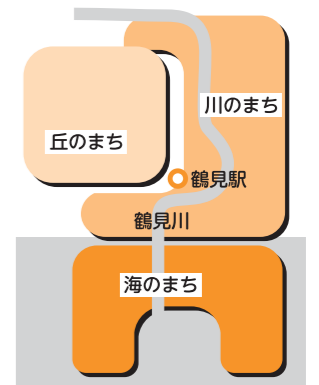
鶴見は、江戸時代のころより鶴見川の水運や東海道を往来する人によって、川筋や街道筋が賑わっていました。漁業が盛んだった沿岸部では、明治のころより埋め立てが進み、京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後は、高度経済成長とともに、商工業の集積と人口増加が進みました。

現在の鶴見区は、約28万人の人口を擁し、住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。

住宅地が連なる市街地や、斜面樹林を背景とする神社仏閣が点在する「丘のまち」では、自然や歴史をいかしたまちづくりが進んでいます。

鶴見川を中心とした「川のまち」では、工場から住宅などへの利用転換が進み、工業、商業、住宅が混在するまちとなっています。外国人が多く住む国際色豊かな地域でもあり、鶴見川は、多くの区民が散歩などで親しむ鶴見区のシンボルとなっています。

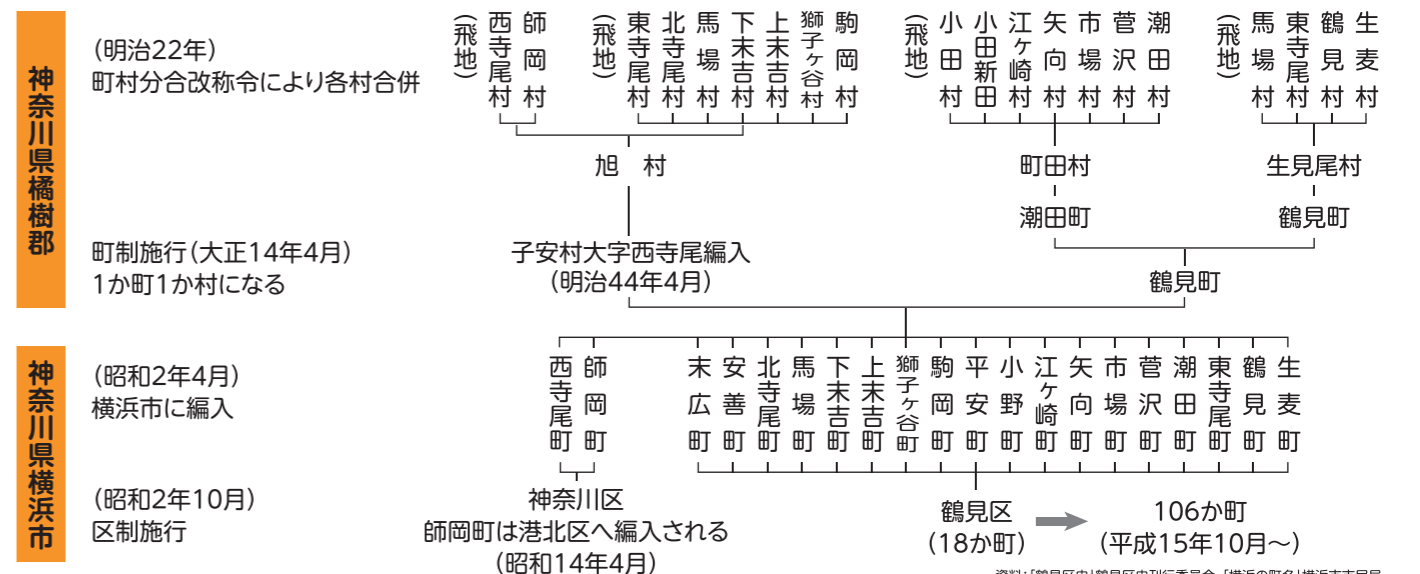
臨海部の「海のまち」では、生命科学の世界的な研究施設である「理化学研究所『横浜研究所』」や産学連携を推進する「産学共同研究センター」などが末広地区に整備され、国際的な一大研究拠点＝横浜サイエンスフロンティアとしての再編整備が進んでいます。



地勢 平成24年4月1日現在

- ・極東: 扇島
- ・極西: 上の宮二丁目
- ・東西距離: 8.16km
- ・極南: 大黒ふ頭
- ・極北: 矢向六丁目
- ・南北距離: 10.13km
- ・最高地: 馬場四丁目 (海面からの高度47.2m)

鶴見区の誕生



資料: 「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局

略年表

年	月	できごと
建久元(1190)	—	源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが 随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3(1221)	—	承久の乱 戦傷死者のなかに潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又 太郎、寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3(1333)	—	新田義貞挙兵・鶴見合戦おこる
建武元(1334)	—	『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃(1436)	—	諏訪氏が寺尾城を築城 以後、初代諏訪右馬助から5代目馬之丞に渡って諏訪氏 が城主を受け継ぐ。
天正3(1575)	—	寺尾城主 諏訪氏滅亡
慶長5(1600)	10	関ヶ原の戦い
6(1601)	—	五街道を整備 鶴見橋(現・鶴見川橋)架設
16(1611)	—	二ヶ領用水完成
嘉永6(1853)	6	ペリー来航
安政6(1859)	6	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2(1862)	8	生麦事件おこる
明治5(1872)	9	12日新橋～横浜間鉄道開通、13日鶴見駅開業
22(1889)	4	市制施行(人口11万6193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村 (後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
31(1898)	5	京浜急行電鉄の前身「大師電気鉄道」設立
44(1907)	11	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2(1913)	2	浅野総一郎、鶴見埋立組合を組織し、鶴見海岸 495ha(150万坪)の埋立に着手
3(1914)	5	平岡広高、児童遊園地「花月園」を開園
12(1923)	9	関東大震災発生
14(1925)	4	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併。 鶴見町となる。
15(1926)	3	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
11	—	第一京浜国道全通
昭和2(1927)	4	鶴見町、旭村(現在の鶴見区全域と神奈川区・港 北区の一部)が横浜市に合併
10	—	鶴見区誕生 人口6万2446人 (鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区で区制施行)
3(1928)	6	市電子安線生麦～金港橋間開通
18(1943)	7	私鉄鶴見臨港鉄道を国が買収し、国鉄鶴見線開業
21(1946)	11	児童遊園地「花月園」閉園
25(1950)	5	花月園競輪場開場
29(1954)	8	三ツ池公園開園
31(1956)	6	横浜市、政令指定都市に指定
33(1958)	3	第二京浜国道全通
9	—	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、 床上浸水14000戸
38(1963)	11	国鉄鶴見事故161人死亡
41(1966)	8	市電生麦線廃止
42(1967)	5	鶴見川、1級河川に指定
44(1969)	5	「鶴見会館」開館
50(1975)	4	獅子ヶ谷市民の森開園
52(1977)	10	区制50周年 人口23万7678人 (『鶴見区史』編纂・出版)
55(1980)	1	鶴見図書館開館
12	—	末吉地区センター開館(鶴見区第1号)
60(1985)	10	鶴見公会堂開館
62(1987)	10	区制60周年 人口24万3751人 (『鶴見の歴史と人々の暮らし』編纂・出版)
63(1988)	1	鶴見区新総合庁舎完成 鶴見区マスコット「ワックン」制定 「横溝屋敷」市指定文化財第1号に指定
平成元(1989)	9	ベイブリッジ・スカイウォーク完成
平成2(1990)	6	上寺尾小学校コミュニティハウス(鶴見区第1号) 開所

年	月	できごと
平成2(1990)	7	大黒ふ頭埋立完成
3(1991)	2	鶴見区のシンボルマーク制定
11	—	区民の花(サルビア)決定
6(1994)	5	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置 潮田交流プラザ(国際学生会館・地区センター・ 地域ケアプラザ(鶴見区第1号)・ふれあいショップ ポート)開館
12	—	高速湾岸線(鶴見つばさ橋)開通
7(1995)	4	環境事業局鶴見工場本格稼働
8(1996)	7	大黒海づり公園開園 高齢者保養研修施設「ふれーゆ」オープン
9(1997)	5	入江川せせらぎ緑道開通
10	—	区制70周年 人口25万883人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂・出版)
10(1998)	10	区の木(サルスベリ)決定 中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」 開所
11(1999)	7	馬場花木園開園
10	—	福祉保健活動拠点開設
12(2000)	4	理化学研究所「横浜研究所」発足
5	—	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
11	—	障害者地域活動ホーム「幹」開所
12	—	「馬場赤門公園」開園
13(2001)	3	「産学共同研究センター」開設
4	—	「市立大学大学院(連携大学院)」開校
14(2002)	1	福祉保健センター開設
15(2003)	4	横浜新技術創造館「リーディングベンチャープラ ザ」開館
16(2004)	4	国道357号線開通
18(2006)	1	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場 コミュニティハウス)開所
19(2007)	3	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
5	—	鶴見中央地域ケアプラザ開所
10	—	区制施行80周年 人口26万7447人 (『つるみみやげ』制定)
21(2009)	4	横浜サイエンスフロンティア高校開校
22(2010)	3	花月園競輪場閉園
11	—	「鶴見会館」閉館
12	—	鶴見中央コミュニティハウス開館
23(2011)	3	鶴見国際交流ラウンジ・区民文化センターサル ビアホール開館
24(2012)	1	生麦地域ケアプラザ開所
11	—	鶴見駅 駅ビル「シアル鶴見」開業

コラム 江戸時代の鶴見

江戸時代、鶴見の東海道筋は、街道沿いの生麦村、鶴見村、市場村などに人が集まり、神奈川宿と川崎宿の間で「間の宿」として、賑わいをみせていました。鶴見地域の大部分は幕府の直轄領(天領)で、代官が治めており、旗本領としては、獅子ヶ谷・駒岡・潮田(一時期)などがありました。

また、江戸時代の生麦は『御菜ハヶ浦』の一つとして栄え、新鮮な魚介類を江戸城に献上していました。御菜ハヶ浦とは、江戸城の御菜御肴を定期的に献上する他、各種の船役を勤める見返りとして、現在の東京湾の漁猟に特権を認められていた専門漁業村落のことです。生麦以外にも、金杉、品川、大井御林、羽田(いずれも現東京都)、神奈川狹師町、新宿(いずれも現神奈川区)の7浦が指定されていました。



鶴見区の主な指標

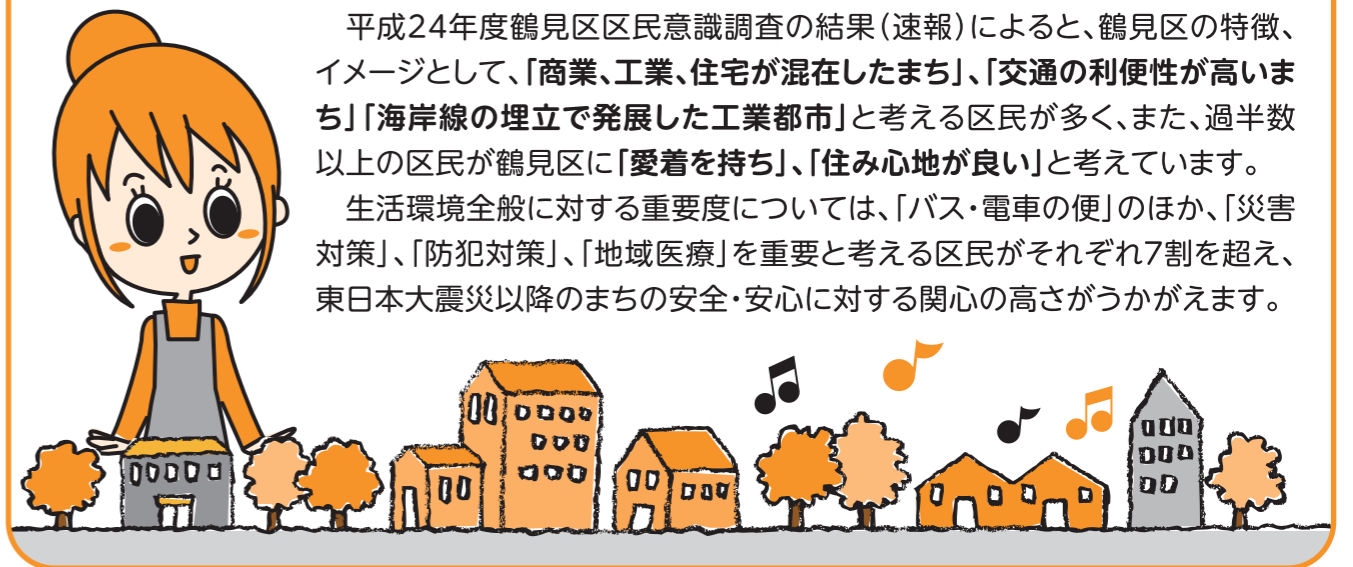
区分	鶴見区	横浜市	18区中順位	基準日
人口	276,027人	3,697,006人	3位	H24.10.1
世帯数	126,789世帯	1,606,472世帯	2位	H24.10.1
面積	32.38km ²	434.98km ²	4位	H24.10.1
人口密度	8,525人/km ²	8,499人/km ²	8位	H24.10.1
平均年齢	42.82歳	43.82歳	4位 ※若い順	H24.1.1
老年人口比率 (65歳以上)	18.2%	20.4%	15位	H24.1.1
年少人口比率 (15歳未満)	13.1%	13.1%	8位	H24.1.1
事業所数 (H21経済センサス基礎調査)	9,672	123,277	3位	H21.7.1
事業所従業者数 (H21経済センサス基礎調査)	118,174人	1,552,882人	5位	H21.7.1

※順位は数値の大きいものから並べた際の順位です

コラム 区民意識調査より

平成24年度鶴見区区民意識調査の結果(速報)によると、鶴見区の特徴、イメージとして、「商業、工業、住宅が混在したまち」、「交通の利便性が高いまち」、「海岸線の埋立で発展した工業都市」と考える区民が多く、また、過半数以上の区民が鶴見区に「愛着を持ち」、「住み心地が良い」と考えています。

生活環境全般に対する重要度については、「バス・電車の便」のほか、「災害対策」、「防犯対策」、「地域医療」を重要と考える区民がそれぞれ7割を超え、東日本大震災以降のまちの安全・安心に対する関心の高さがうかがえます。

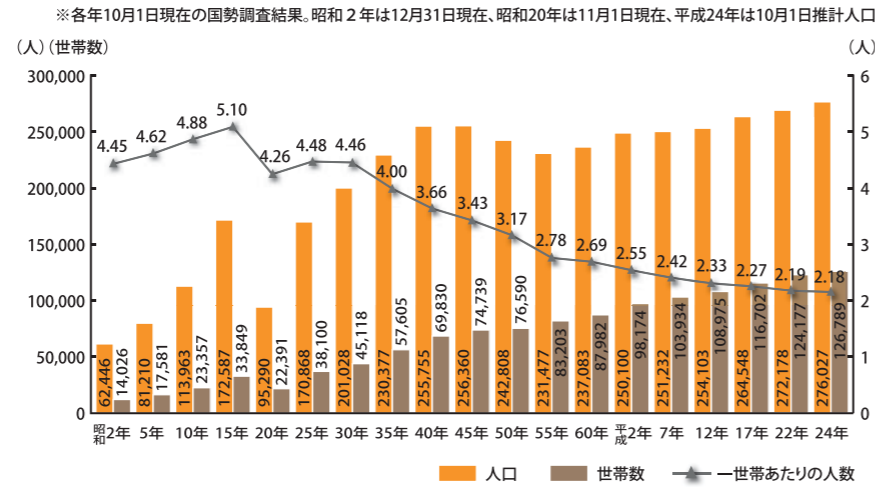


人口の動向

人口及び世帯数の推移

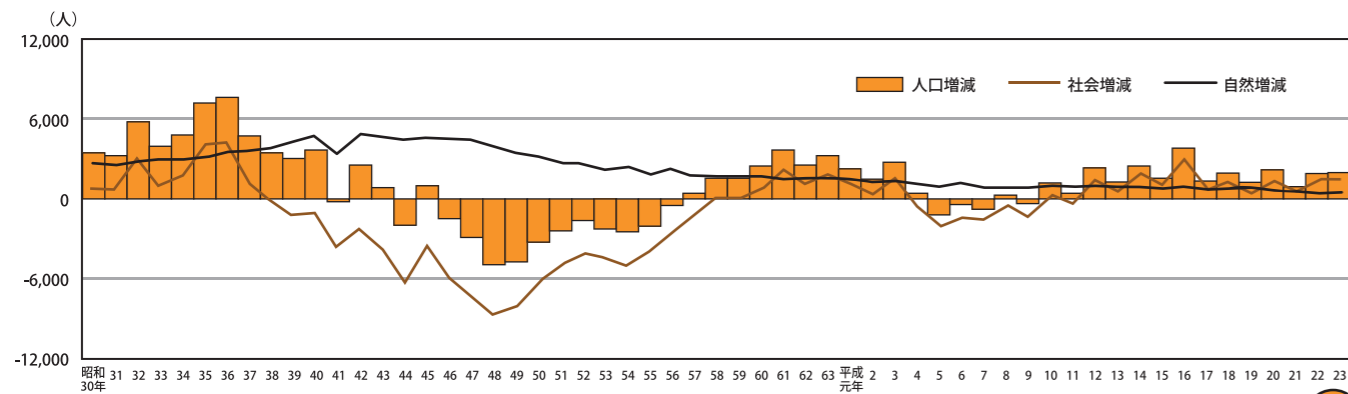
戦後、増え続けていた人口も昭和43年7月の260,777人をピークに減少し、昭和56年4月には229,945人と落ち込みましたが、その後は緩やかな増加傾向が続いています。一方、世帯数は年々増加しています。

平成24年10月1日現在、鶴見区の人口は276,027人であり、世帯数は126,789世帯となっています。



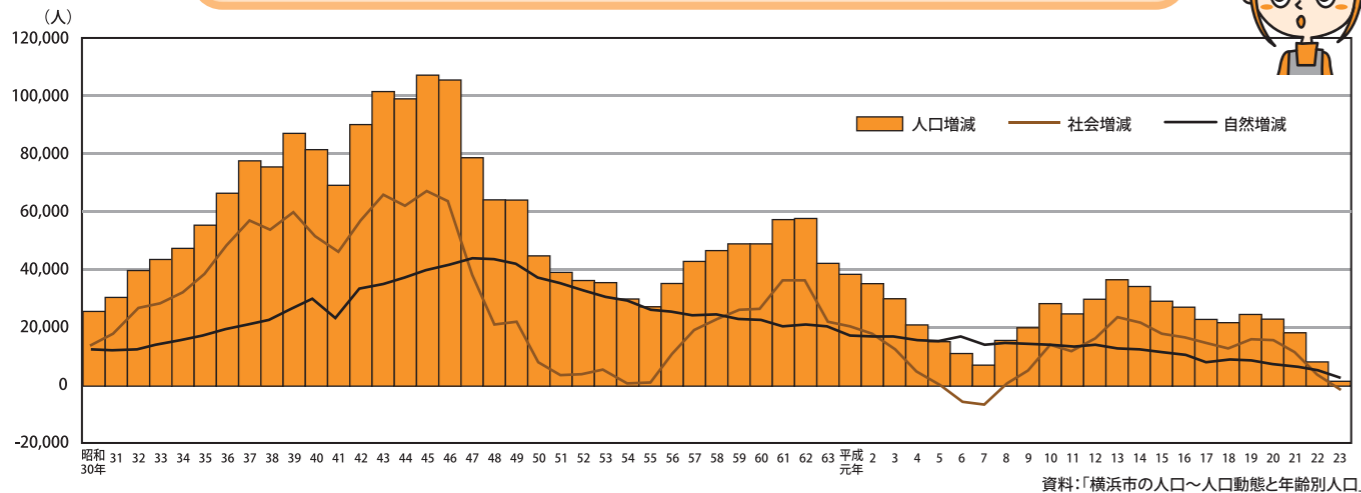
人口増減・社会増減・自然増減の推移

鶴見区



横浜市全体の平成23年中における人口増加数が、戦後最も少ない値を記録したのに対し、鶴見区は近年比較的安定した数で増加しているよ!

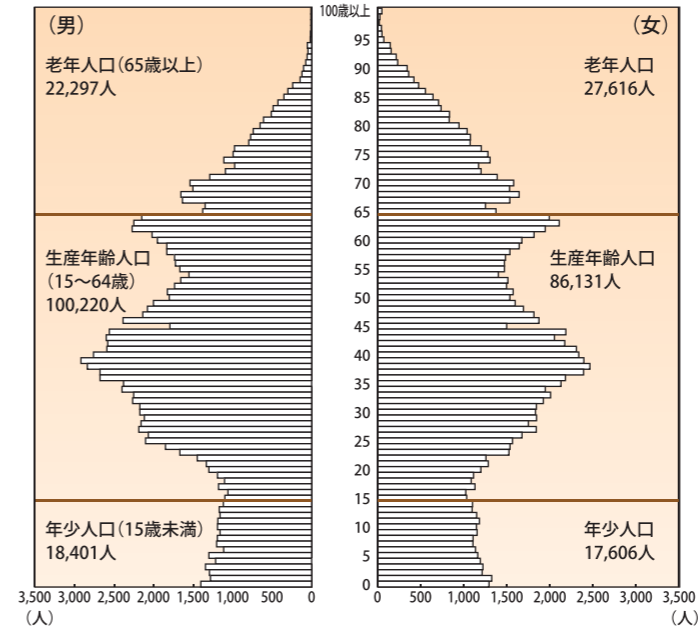
横浜市



鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと(社会減)により、人口が大きく減少した時期がありました。その後、昭和50年代後半から人口が増加したものの、いわゆるバブル期を経て再び社会減の傾向が続きましたが、平成12年からは社会増に転じ、近年は比較的安定した数で増加しています。

年齢別人口の状況

鶴見区人口ピラミッド (H24.1.1現在)



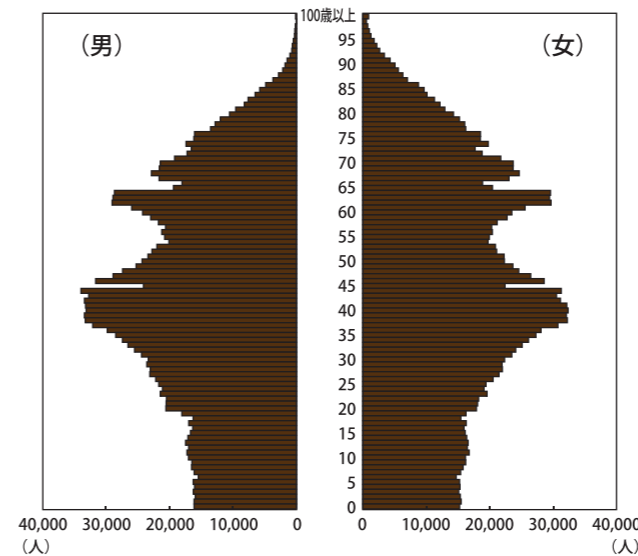
鶴見区の人口ピラミッドには大きく2つの特徴があります。

- ①38~39歳前後の第二次ベビーブーム時期の人口が、63歳前後の第一次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。
- ②0~10歳までの人口が増加しており、ピラミッドの裾野が全国及び横浜市のピラミッドに比べて広がっています。

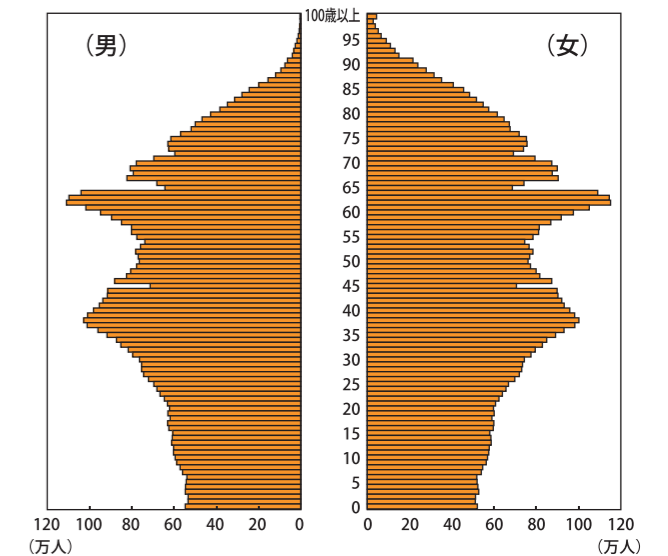


鶴見区は年少人口が増加の傾向にあるんだね!

横浜市人口ピラミッド (H24.1.1現在)



全国人口ピラミッド (H23.10.1現在)



行政区別平均年齢 (H24.1.1現在)

鶴見区の平均年齢は、平成24年1月1日現在42.82歳で、これは18区中、4番目に若い値です。市内で最も平均年齢が低い区は、都筑区で39.44歳、一方高い区は、南区で45.93歳となっています。

★平均年齢が低い区 BEST4★

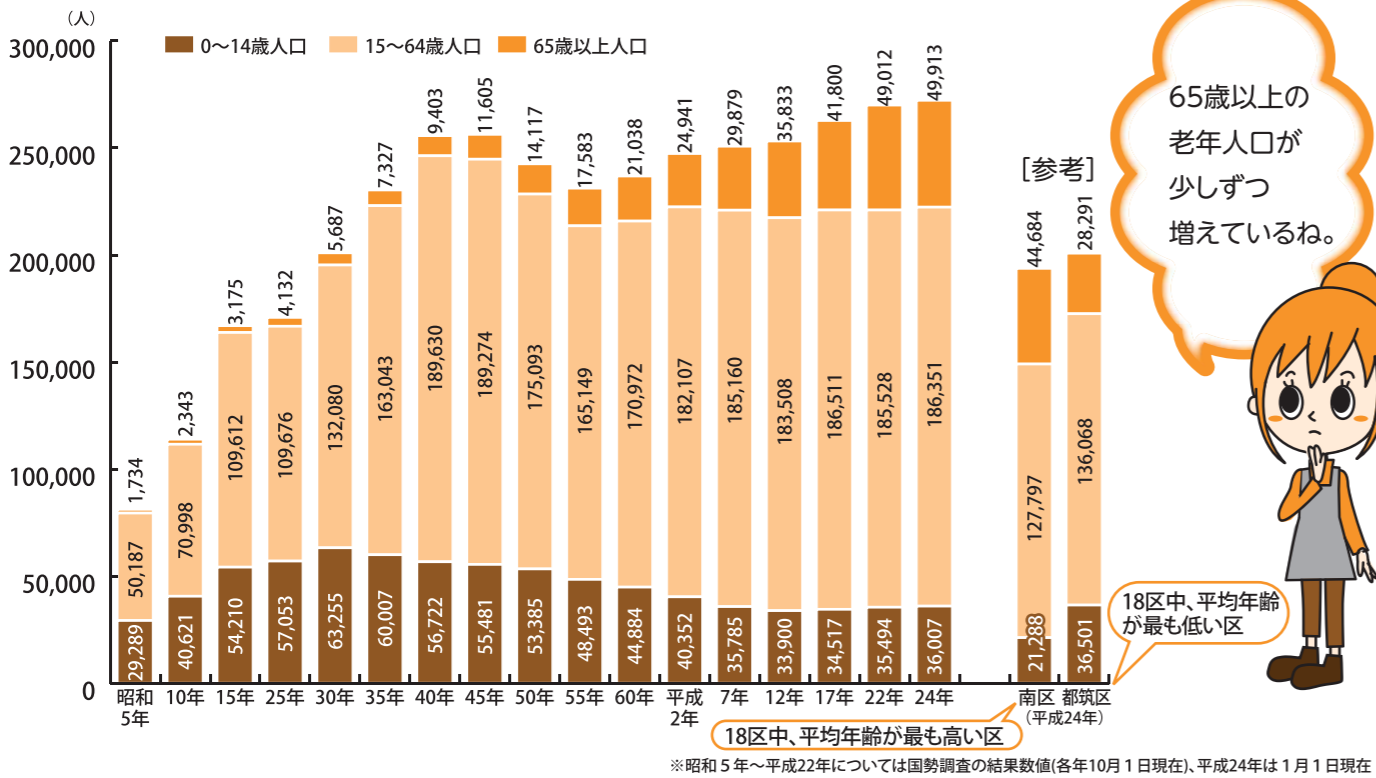
1位	都筑区 (39.44歳)
2位	青葉区 (41.56歳)
3位	港北区 (41.99歳)
4位	鶴見区 (42.82歳)

★平均年齢が高い区 BEST4★

1位	南区 (45.93歳)
2位	旭区 (45.92歳)
3位	磯子区 (45.72歳)
4位	中区 (45.70歳)

資料:「横浜市の人口～人口動態と年齢別人口」

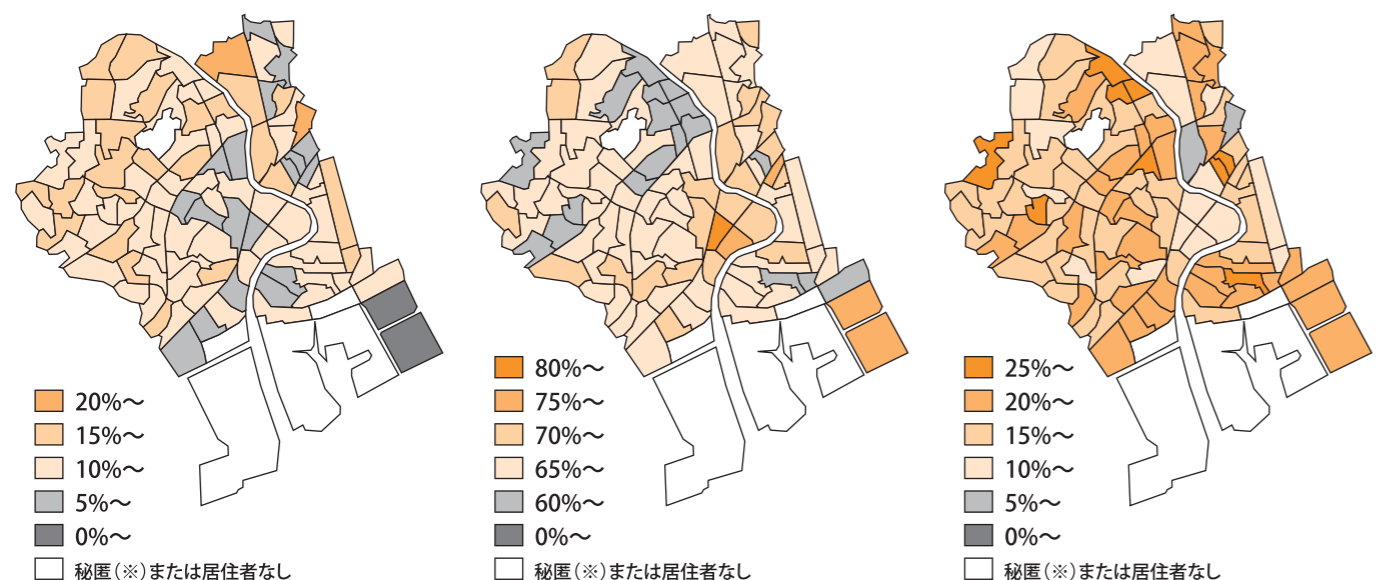
年齢3区分別人口の推移



年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に0～14歳の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。また、0～14歳の年少人口は、昭和30年以降減少していましたが、平成12年以降は、微増しています。

Have a Break! 地図でみる鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

住民基本台帳等(H24年3月31日現在)
※大黒ふ頭、扇島は省略しています。



年少人口(15歳未満)人口比率

生産年齢人口(15～64歳)人口比率

老年人口(65歳以上)人口比率

(※) データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。

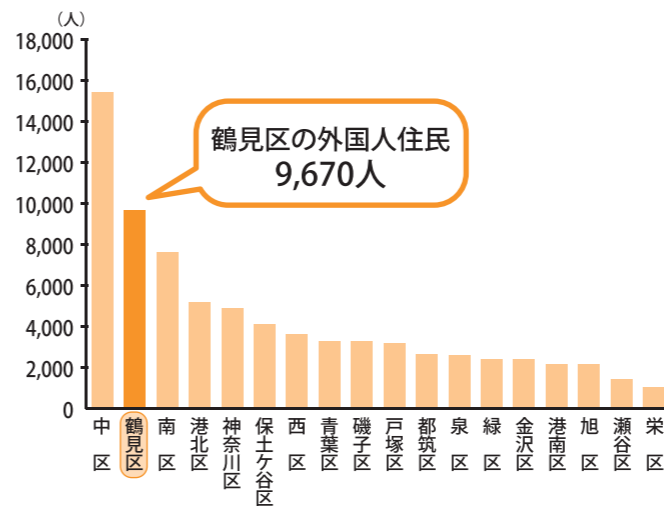
外国人住民

鶴見区の外国人住民

平成24年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は9,670人です。これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。

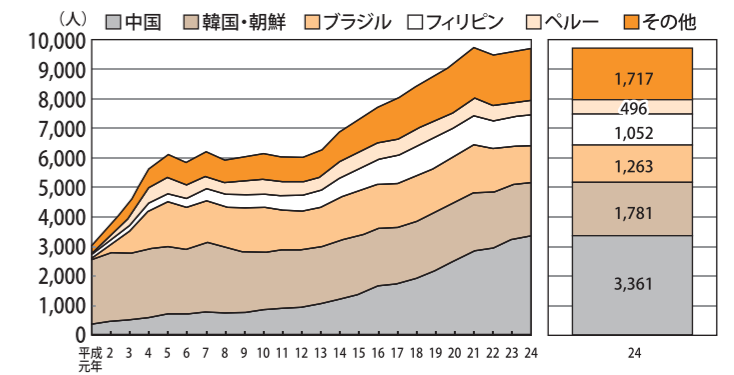
国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジルの構成比が大きいことがわかります。

18区別外国人住民数

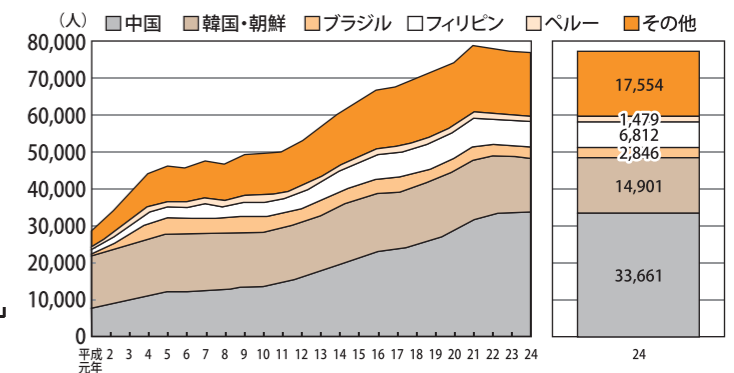


国籍別外国人住民数の推移

鶴見区



横浜市



資料 「横浜の人口 外国人登録人口」各年3月末現在

鶴見には南米出身の外国人住民の割合が高いという特徴があるよ！
人数でみると、中国の人が一番多いよ！

※注意※
平成24年7月9日に「外国人登録法」が廃止になり、改正住民基本台帳法の施行により、外国人住民も住民基本台帳に記載されるようになりました。

Have a Break! 地図でみる鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一・三丁目、本町通、市場上町などです。

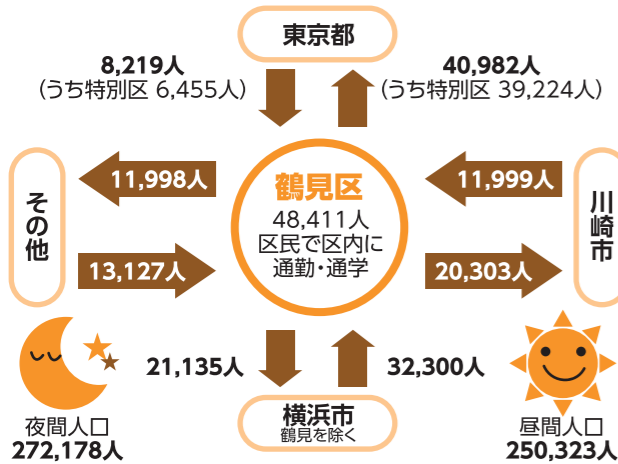
また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。



流出人口・流入人口・昼夜間人口

流出人口・流入人口

鶴見区に常住(居住)する15歳以上の就業者及び通学者数は144,457人で、そのうち、区内で就業・通学する者は48,411人、市内他区へ就業・通学する者は21,135人となっています。また、横浜市以外では、鶴見区からは東京都への流出が40,982人と多くなっています。

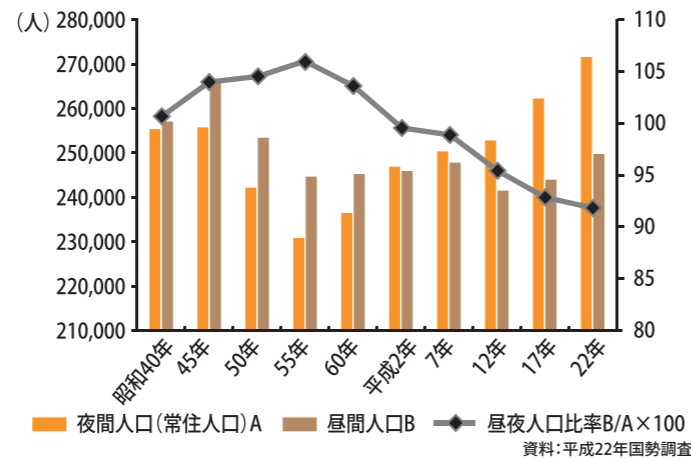


昼夜間人口

平成22年国勢調査で、鶴見区の昼夜間人口比率が低下した一方、横浜市では前回より1.1ポイント増加し、91.5になりました。

平成22年の鶴見区の昼間人口は250,323人、夜間人口は272,178人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。また、昼夜間人口比率は92.0で昭和55年の106.1をピークに減少を続けています。

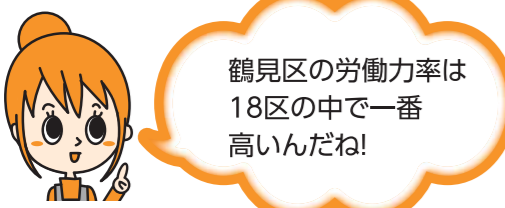
◆昼夜間人口・昼夜間人口比率の推移◆



労働力人口・就業状況

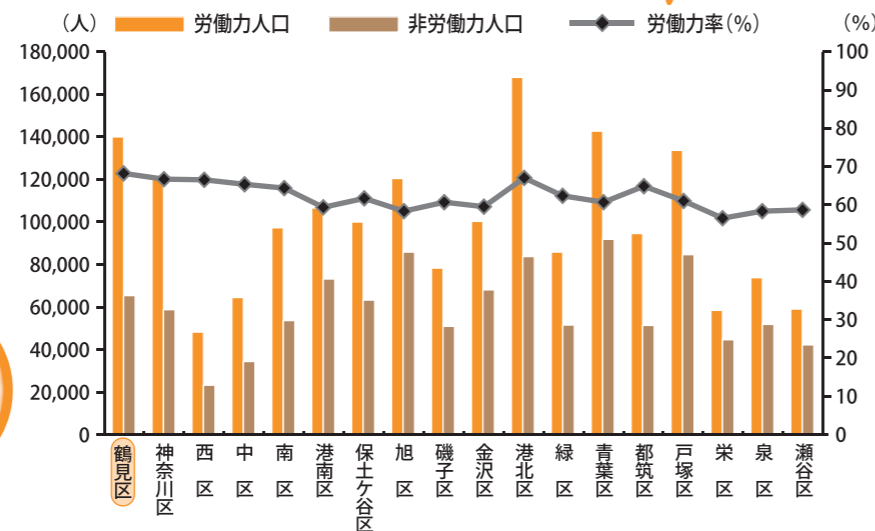
労働力人口・労働力率

鶴見区の労働力人口は、140,424人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。一方、鶴見区の労働力率は68.1%で、18区中1位となっています。



◆行政区別労働力状態◆

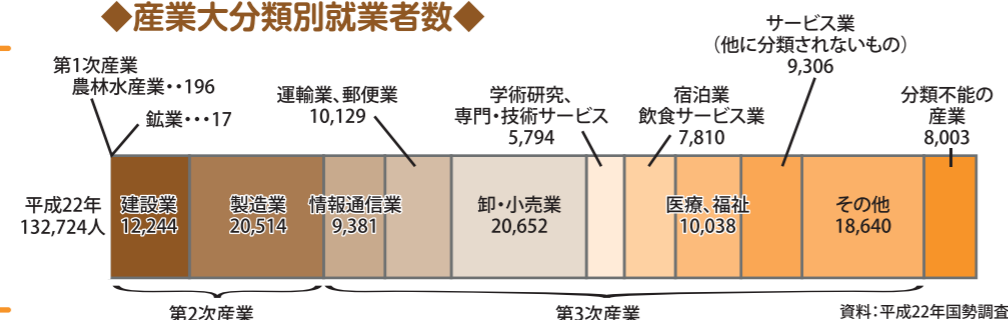
15歳以上人口に占める労働力人口(就業者と完全失業者の計)の割合



就業状況

鶴見区の就業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、卸売業・小売業の就業者数が20,652人と最も多くなっています。

◆産業大分類別就業者数◆

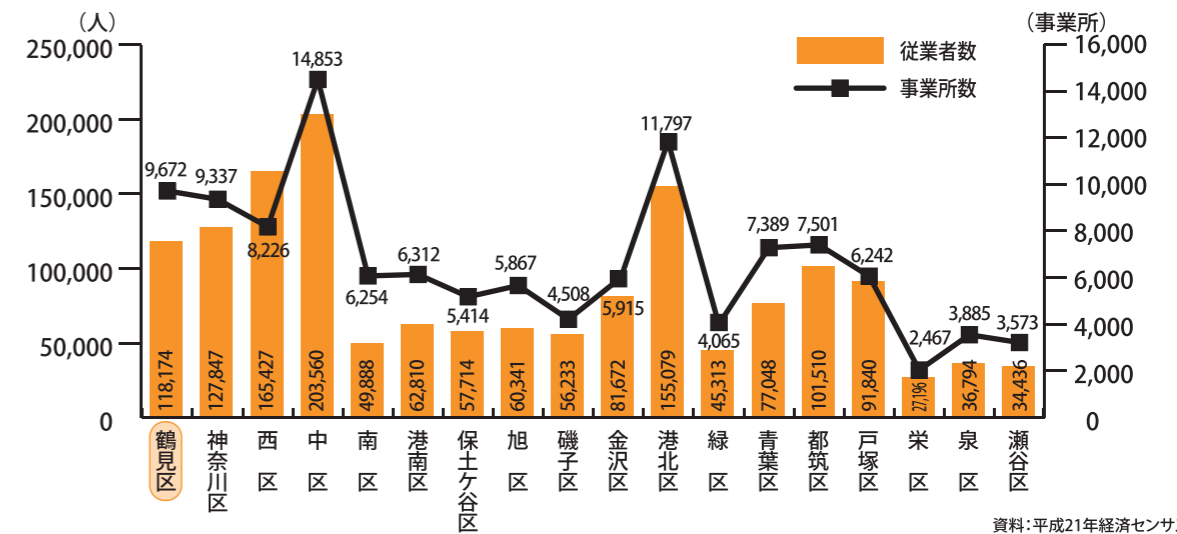


産業

事業所

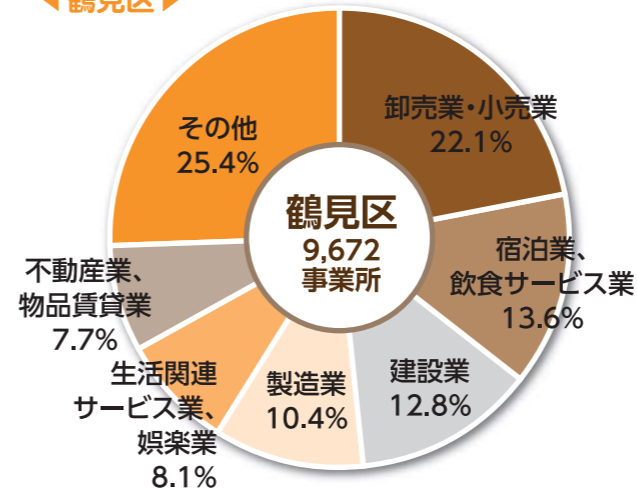
区別事業所数・従業者数

平成21年の鶴見区の仕事所数は、9,672事業所となっており、18区の中では、中区(14,853事業所)、港北区(11,797事業所)に続き、3番目の多さとなっています。従業者数については、118,174人で、中区、西区、港北区、神奈川区に続いて5番目に多くなっています。

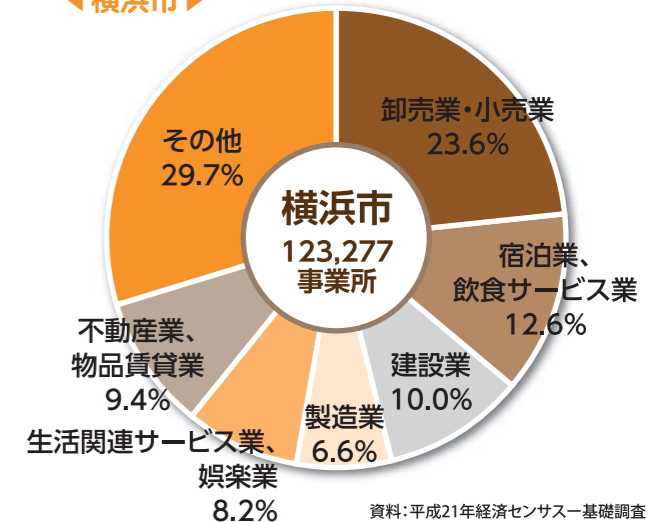


事業所数の産業大分類別構成比〈鶴見区・横浜市〉

◀ 鶴見区 ▶



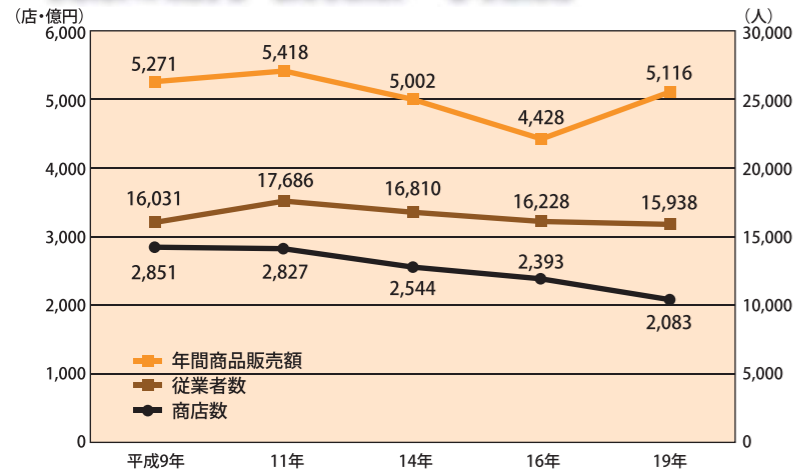
◀ 横浜市 ▶



鶴見区の仕事所数の構成比は、大きい順に、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、建設業、製造業となっています。横浜市は、製造業が8,104事業所で、構成比では約6.6%であるのに対し、鶴見区の製造業は1,002事業所で約10.4%を占めています。製造業の仕事所の市内約8分の1が鶴見区にあり、鶴見区は製造業の割合が高いことが分かります。

商業

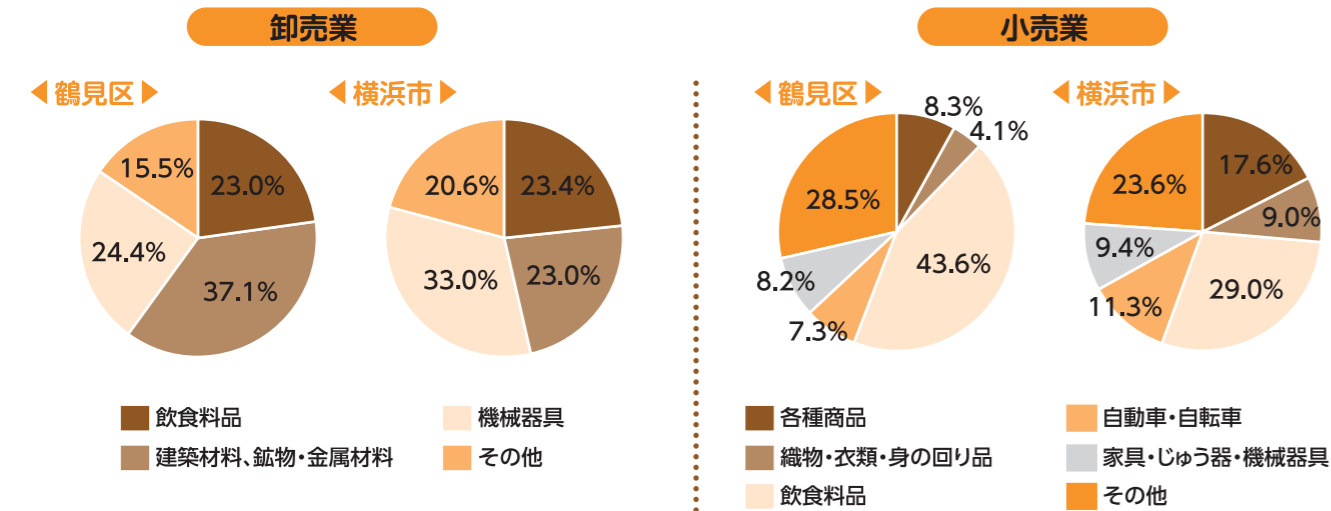
商業の動向 (卸売業・小売業)



平成19年の商業統計調査の結果をみると、平成16年に比べて卸売業、小売業ともに、商店数が減少しています。
従業者数に関しては、卸売業が増、小売業が減となりましたが、従業者数全体で見ると減少となっています。これに対して、年間商品販売額は、全体で688億円増加しています。

鶴見区は、卸売業では、建築材料・鉱物・金属材料の割合が高く、小売業では、飲食料品の割合が高いのが特徴だよ!

産業中分類別年間商品販売額構成比



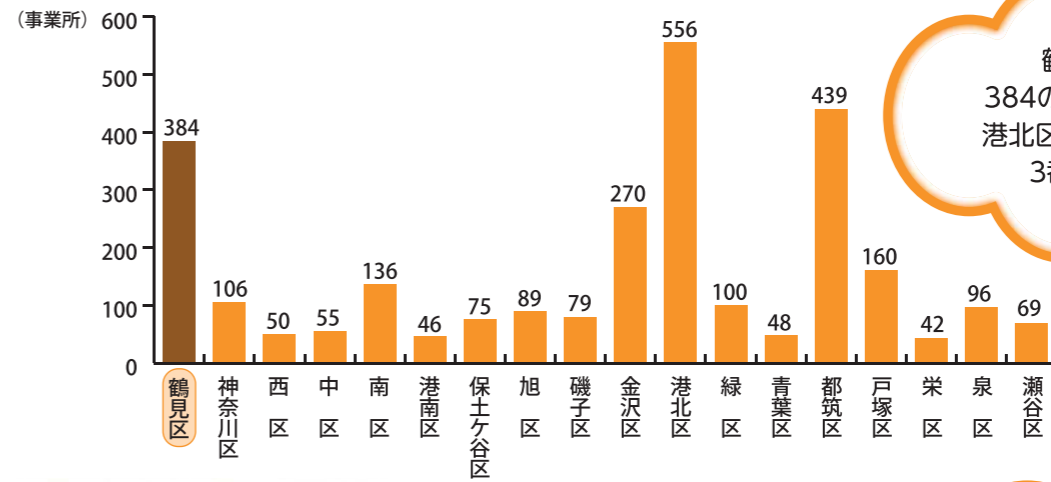
区別商店数・従業者数・年間商品販売額

区別	商店数		従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	年間商品販売額順位
	総数	卸売業			
横浜市	26,032	5,634	248,612	9,788,249	
鶴見区	2,083	465	15,938	511,645	7位
神奈川区	2,092	680	19,348	1,040,858	4位
西区	2,001	418	24,747	1,711,786	1位
中区	2,802	723	23,058	1,114,208	3位
南区	1,575	327	10,126	201,363	15位
港南区	1,313	182	14,231	406,050	9位
保土ヶ谷区	1,157	191	10,159	324,630	11位
旭区	1,221	189	11,195	264,256	12位
磯子区	948	147	7,551	182,858	16位
金沢区	1,381	308	13,870	531,685	6位
港北区	2,186	632	23,940	1,355,471	2位
緑区	872	138	8,856	237,701	13位
青葉区	1,473	224	14,227	381,675	10位
都筑区	1,624	388	17,361	614,048	5位
戸塚区	1,283	246	14,919	424,086	8位
栄区	468	91	4,263	95,334	18位
泉区	738	122	7,475	167,709	17位
瀬谷区	815	163	7,348	222,886	14位

資料:平成19年商業統計調査

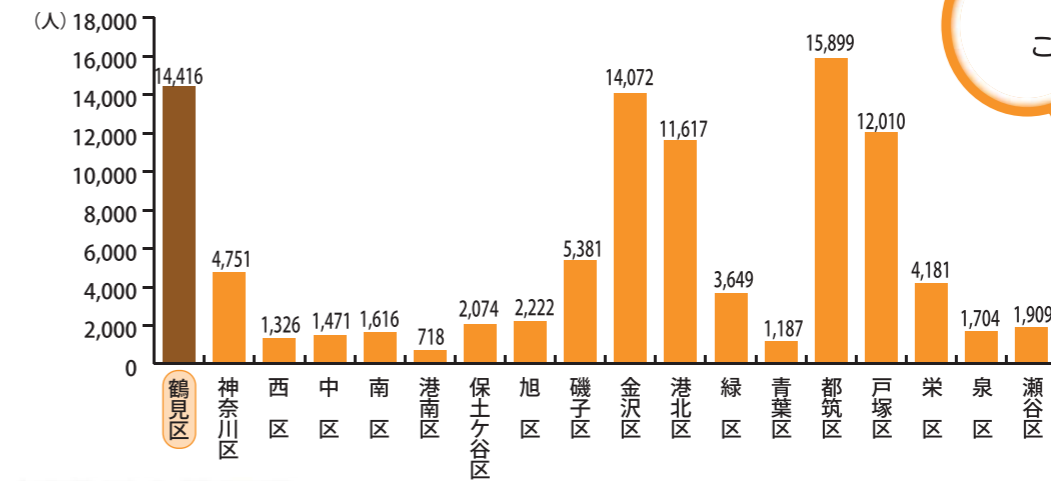
工業

区別事業所数 (工業)



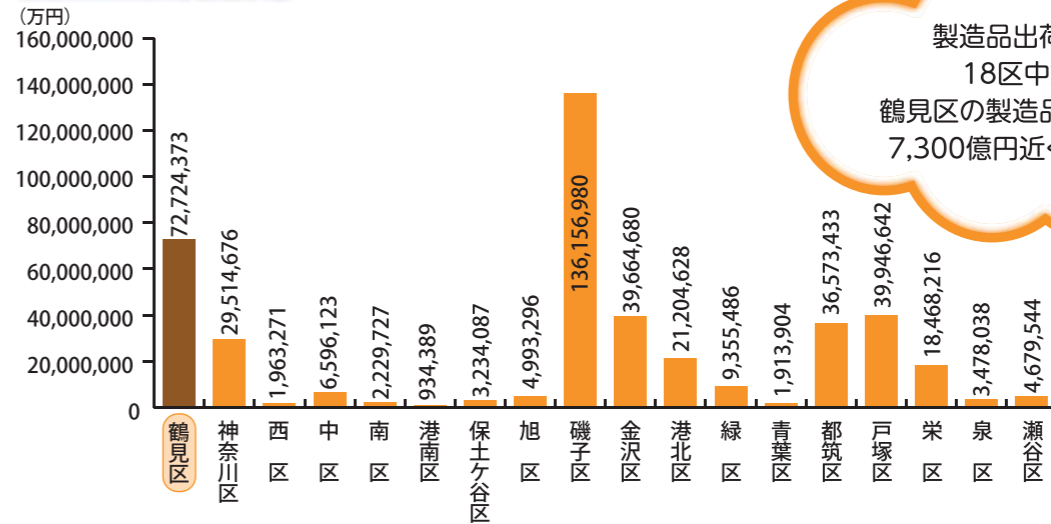
鶴見区内には384の事業所があって、港北区、都筑区に続いて3番目に多いよ!

区別従業者数 (工業)



鶴見区の従業者数は14,416人で、これは都筑区に次いで多く、18区中、第2位だよ!

製造品出荷額等



製造品出荷額等は、18区中第2位! 鶴見区の製造品出荷額等は、7,300億円近くあるんだよ!

鶴見区は、高度経済成長期に日本の重工業を支えた京浜工業地帯の中心でした。事業所数については、昭和48年の1,096事業所をピークに、平成22年には384事業所と4割弱に減少し、また従業者数についても、60,000人を上っていた昭和30年代後半と比べて、約4分の1以下となりましたが、それでも鶴見区は、横浜市内の工業で重要な位置を占めています。

資料:平成22年工業統計調査(従業者4人以上の事業所対象)

住宅

住宅の建て方別の世帯数

(単位:世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	40,552	586,377
長屋建	1,439	27,122
共同住宅	77,245	926,880
その他	374	3,142
合計	119,610	1,543,521

住宅の建て方をみると、共同住宅が最も多く77,245世帯(住宅に住む一般世帯数に占める割合64.6%)と2世帯に1世帯以上が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが40,552世帯(33.9%)となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は、横浜市全体の60.0%(926,880世帯)と比べ4.6ポイント上回っています。

資料:平成22年国勢調査

持ち家に住む一般世帯は
56.5%だよ!

コラム 鶴見区の用途別水道使用量

平成23年度の鶴見区の水道使用量は、約4,859万 m^3 でした。そのうち、公衆浴場用が約30万 m^3 で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量(約95万 m^3)の約3割以上を占めています。

ちなみに、鶴見区の平成23年末の公衆浴場数は38です。近年は減少傾向が続いていますが、18区中、中区に次いで2番目の多さとなっています。

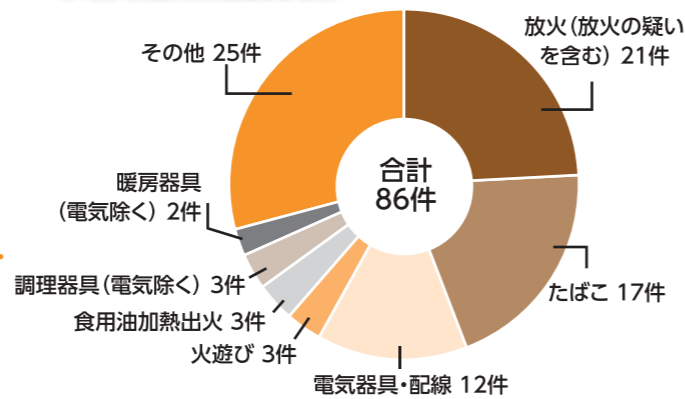
資料:水道局・横浜市統計書

消防

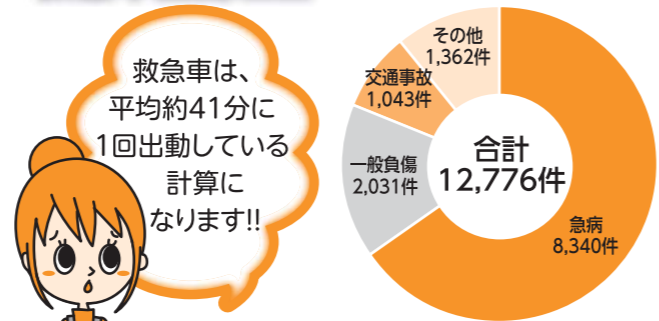
平成23年の火災発生件数は、86件で、前年に比べると14件増加しています。これらの火災の原因としては、「放火(放火の疑いを含む)」が21件で一番多く、次いで「たばこ」が17件、電気器具・配線が12件となっています。

また、平成23年の救急車の出動件数は、12,776件であり、出動理由としては、急病が8,340件と一番多く、全体の6割以上を占めています。

火災原因別件数



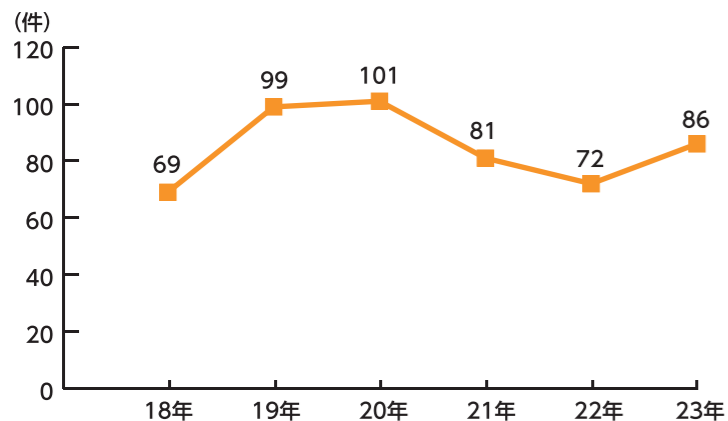
救急車出動理由



救急車は、平均約41分に1回出動している計算になります!!

資料:鶴見消防署

火災発生件数の推移

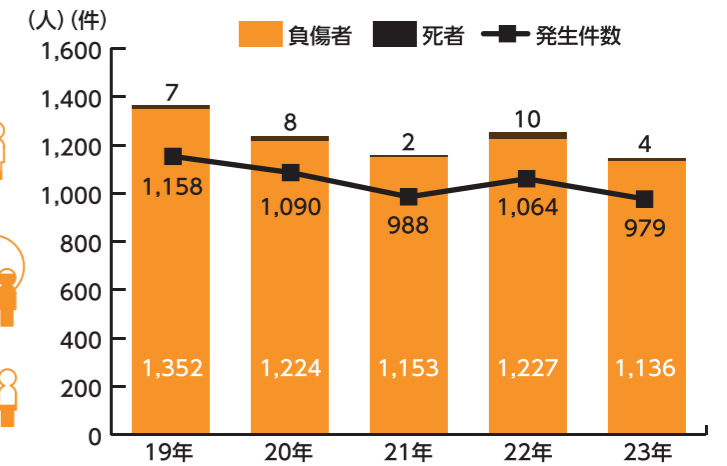


交通

区内駅別一日平均乗車人員 (平成23年度)



交通事故発生件数と死者・負傷者の推移



平成23年中の交通事故発生件数は979件、負傷者数は1,136人、死者数は4人となっており、いずれも昨年より減少しました。

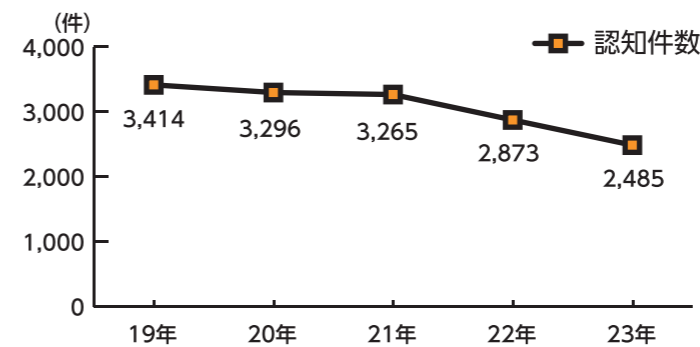
資料:鶴見警察署

平成23年度のJR鶴見駅の一日平均乗車人員は、76,445人で、市内のJR在来線のうち、横浜駅、戸塚駅、大船駅に続いて4番目に多いよ!

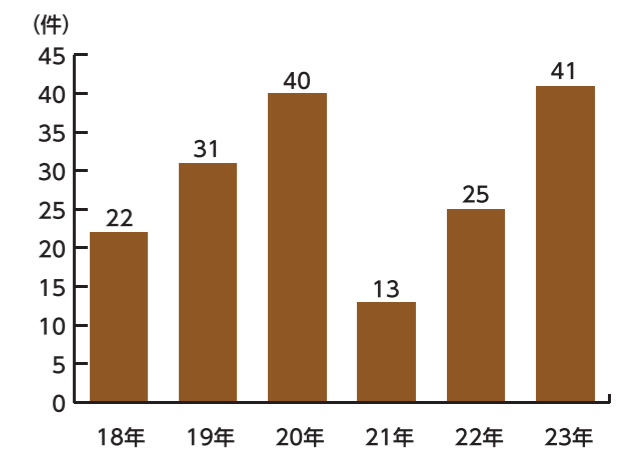
犯罪

犯罪(刑法犯)認知件数の推移

平成23年中の鶴見署の犯罪認知件数は、2,485件で、平成19年以降4年連続で減少傾向にあります。



振り込め詐欺件数推移



犯罪(刑法犯)の種類別認知件数 (平成23年)

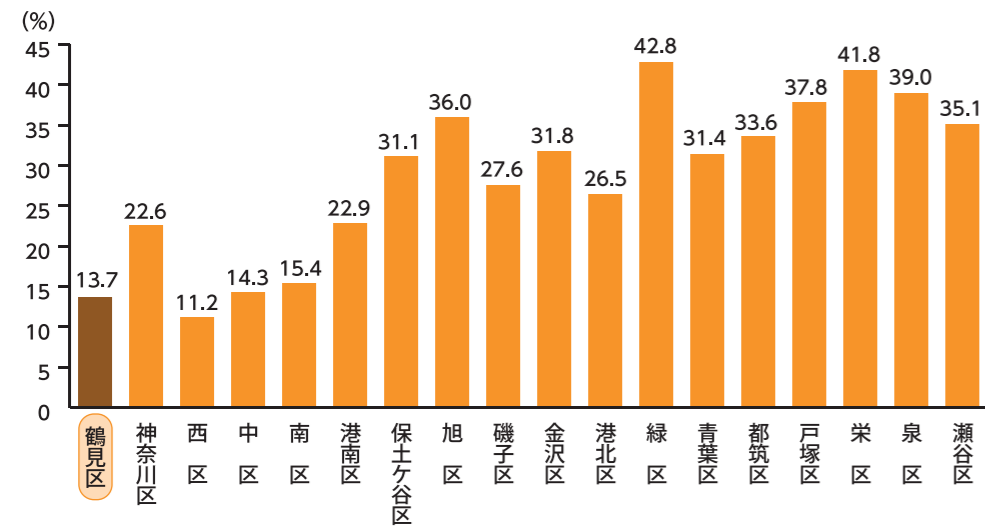
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総数
鶴見署	14	197	1,837	109	16	312	2,485
横浜市	210	2,356	24,357	1,295	240	4,113	32,571

振り込め詐欺件数は、平成21年に一度減少したものの、平成22年、平成23年と再び増加しています。

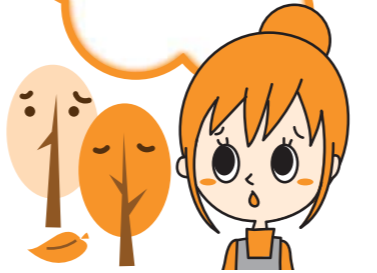
資料:鶴見警察署

環境

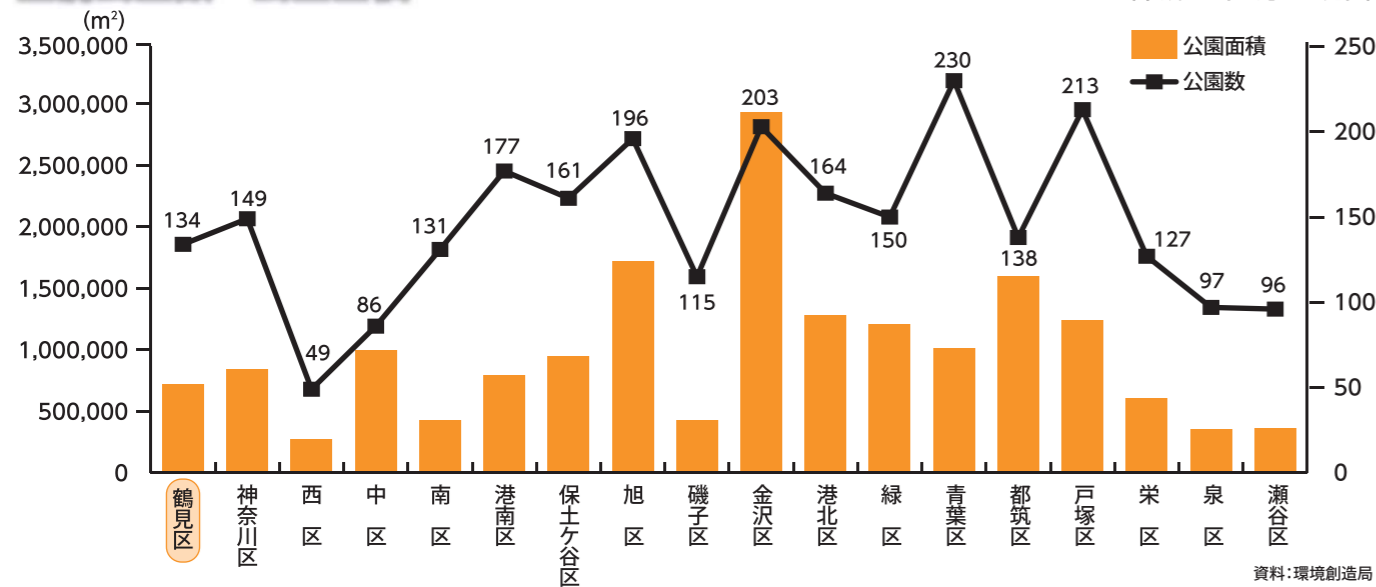
緑被率 (平成21年調査)



鶴見区の緑被率は、18区中17位です。鶴見区の緑被率は、年々減少傾向にあります。



区別公園数・公園面積 (※県立公園含む)



資料: 環境創造局

鶴見区には、平成24年7月1日現在、134の公園があり、その面積は719,297m²となっています(県立公園含む)。そのうち、県立公園である三ツ池公園が、区内の公園面積の約4割を占めています。

鶴見川について

鶴見川は、全長42.5キロメートル、横浜市内唯一の一級河川で、多摩丘陵の山中の源流から、区内を北から南になだらかに蛇行しながら流れ、東京湾に注いでいます。

流れが緩やかで水量が豊かなことから、古くから流域の水運に使われ、内陸部の農産物は地先の河岸から河口に運ばれ、外からの物資もまた鶴見川によって内陸部に運ばれ、川筋はたいへん賑わいました。しかし、勾配がなだらかなため、満潮時には、海水が鶴見川を逆流し、農業用水には適していませんでした。そのため、駒岡、末吉などの鶴見川西側ではため池を作って、田に水を引いていました。現在も残る二ツ池、三ツ池は当時のため池です。対岸の矢向、市場などでは、多摩川から引いた二ヶ領水路を農業用水として使用していました。

また、ひとたび大雨が降ると洪水を繰り返してきたため、昔から「暴れ川」と呼ばれ、流域の人々の生活や命をおびやかしてきましたが、現在では、護岸整備が進み、昭和57年の台風18号による氾濫以降、大規模な被害は発生していません。近年は、流域の都市化に伴い、工場や生活排水等により、鶴見川の汚染が進みましたが、現在、川をきれいにしようと環境保全活動が進んでいます。



区民フェスティバル

鶴見区では、毎年、春(三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル)・夏(鶴見川サマーフェスティバル)・秋(つるみ臨海フェスティバル)の3回、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

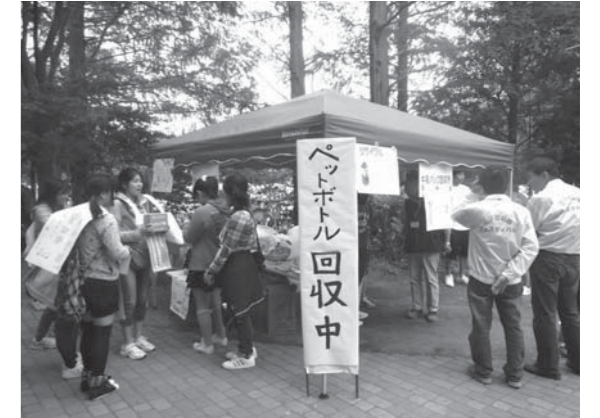
三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、2つのステージにおける学校・活動団体の発表や、フリーマーケット、模擬店でのリユース食器の活用などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しました。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町・棚倉町をはじめとする東北被災地県からも出店があり、特産物の販売や都市PRが行われました。

会場 県立三ツ池公園

日時 平成24年5月12日(土)



中学生ボランティアによる募金活動とペットボトル回収

鶴見川サマーフェスティバル



夏の夜空を彩る花火

区民の“ふるさと意識”及び“河川愛護意識”を醸成するとともに、住民相互の連帯と親睦を深めることを目的に開催しました。

川のイベント(大型カーン・Eポート体験、クルージング)、模擬店・PRブース、鶴見川コンサート、鶴見川花火大会など、1日中楽しめるイベントとなっています。

特に、夏の夜空を彩る約1,100発の花火は、鶴見川の夏の風物詩として、区民の皆様に親しまれています。

また、多数の区民ボランティアに支えられ、無事に開催することができました。

会場 鶴見川および佃野公園周辺 日時 平成24年8月18日(土)

つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさとーみんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目指して、開催しました。

ステージでは、地元小中学生等による器楽演奏やフラダンスが披露され、出店ブースでは、大分県佐伯市鶴見から「すしトラック」がやってきました。また、野球場内では大日本プロレスによる「こどもプロレス教室」やプロレスの試合が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



地域団体によるステージイベント(フラダンス)

会場 入船公園

日時 平成24年10月20日(土)



上記、3つの区民フェスティバル以外にも、区内ではさまざまなお祭りやイベントが行われています!

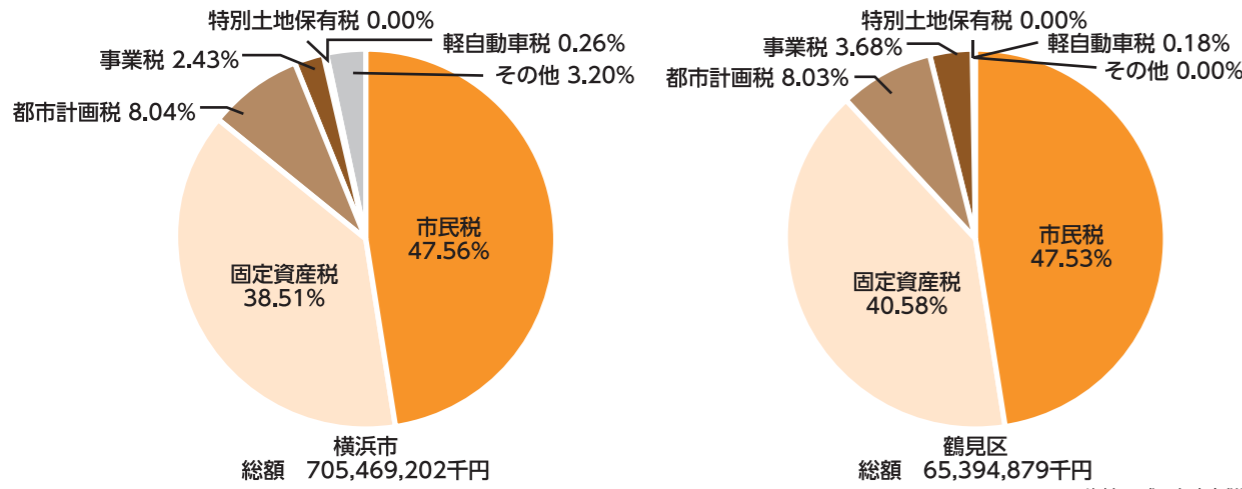
資料: 鶴見区地域振興課

市 税

鶴見区の平成23年度の市税収入は、約654億円で、市全体の9.27%を占めています。税別では、

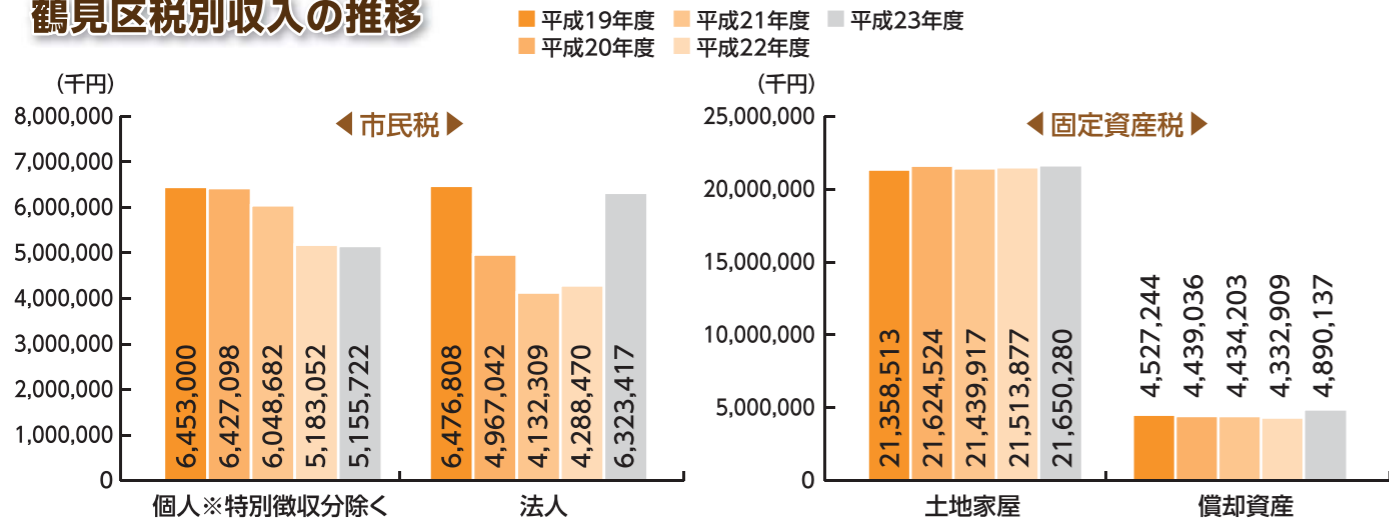
- ①「個人市民税」は、給与所得の納税義務者が減少したことにより減収。
- ②「法人市民税」は、東日本大震災の影響が一部あったものの、企業収益が堅調であったことから増収。
- ③「固定資産税・都市計画税」は、家屋の新増築などにより増収となっており、前年度収入を上回っています。

市税収入の構成比 (平成23年度)



資料：平成23年度市税決算額調

鶴見区税別収入の推移



資料：平成23年度市税決算額調

戸 籍

■戸籍数(本籍) (平成24年3月31日現在)

横浜市合計 1,211,988戸籍 (単位:戸籍)

1位	2位	3位
鶴見区 99,988	港北区 99,170	神奈川区 86,932

■住民登録世帯数 (平成24年3月31日現在)

横浜市合計 1,655,322世帯 (単位:世帯)

1位	2位	3位
港北区 155,217	鶴見区 129,989	青葉区 126,250

鶴見区の戸籍数(本籍)は平成24年3月31日現在99,988戸籍で、18区中第1位の多さとなっています。また、区内に住所を定めている世帯の数は、129,989世帯で、港北区に次いで第2位の多さです。

鶴見区の戸籍数は18区の中で一番多いんだね!



資料：鶴見区戸籍課

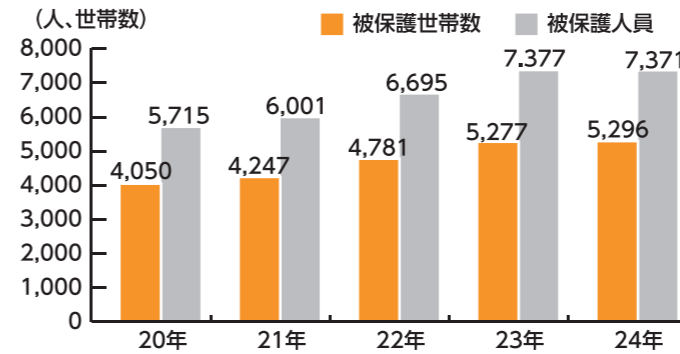
生活保護

生活保護人員・世帯・保護費の推移

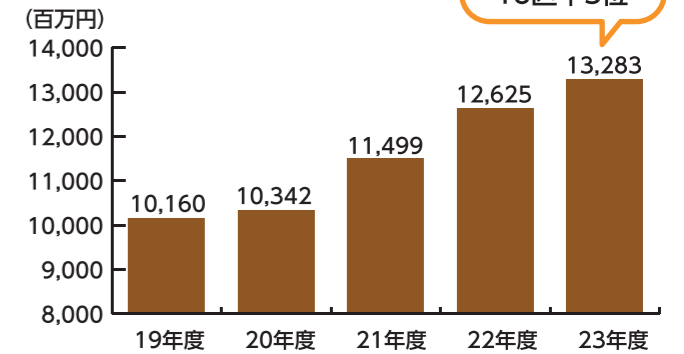
平成24年4月1日現在の鶴見区において、生活保護を受給している世帯は5,296世帯(18区中3位)で、人員は7,371人(18区中2位)です。

最近の雇用の流動化等の社会情勢や経済情勢を背景に、今後も被保護世帯数が高い値で推移することが予想されます。

生活保護人員・世帯数の推移 (各年4月現在)



生活保護費の推移 (各年度)

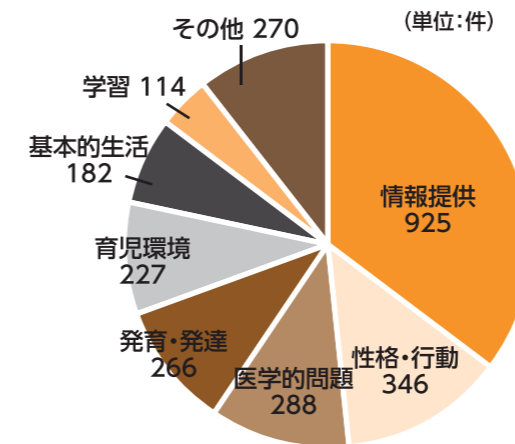


資料：鶴見区保護課

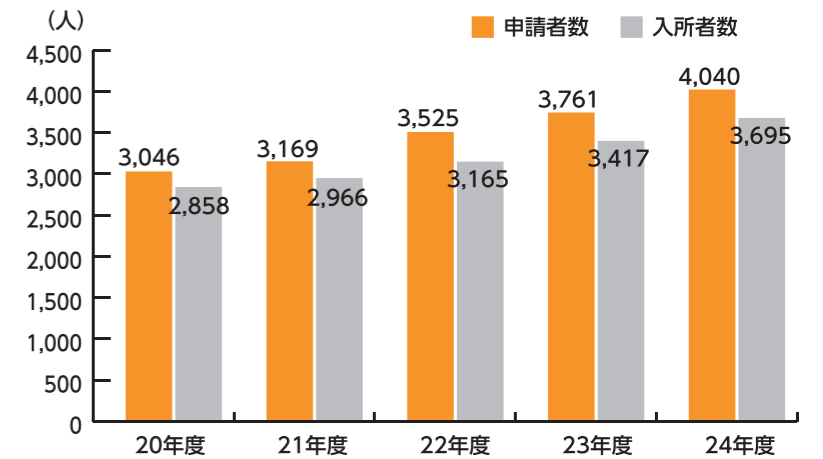
子育て

子ども家庭支援相談状況

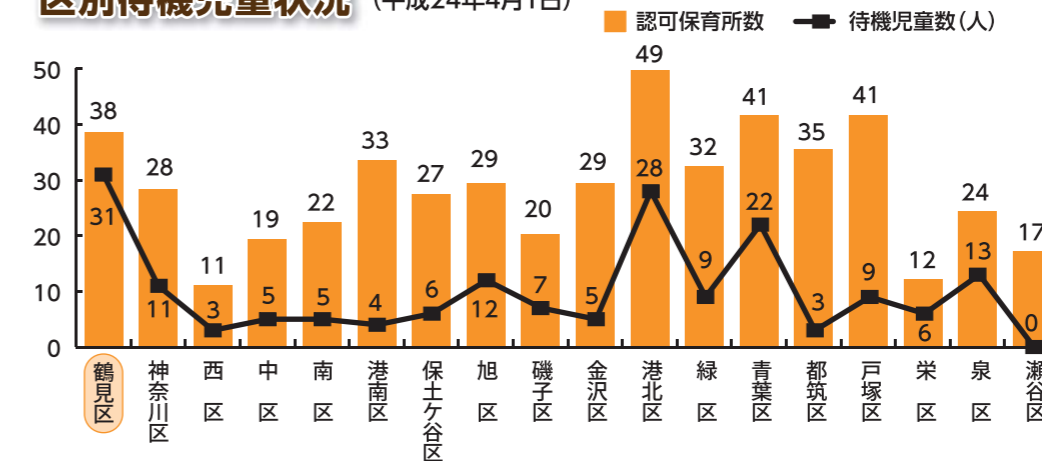
(平成23年度延べ件数)



保育所入所状況 (各年4月1日)



区別待機児童状況 (平成24年4月1日)



鶴見区には、H24年4月1日現在、38か所の認可保育所があり、18区中、4番目に多いです。また、待機児童数ゼロに向け、保育所の整備が進んでいて、来年春には10か所増える予定だよ!



資料：鶴見区子ども家庭支援課

健康

主な死因の状況

がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病による死因が約6割を占めています。

主な死因の死亡数 (単位:人)

	全死因	悪性 新生物	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	不慮の 事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性 肺疾患	腎不全
20年	1,980	634	284	237	195	85	61	47	55	18	36
21年	2,118	684	299	248	168	76	81	51	49	29	30
22年	2,187	701	301	227	184	84	78	68	58	36	35

平均寿命

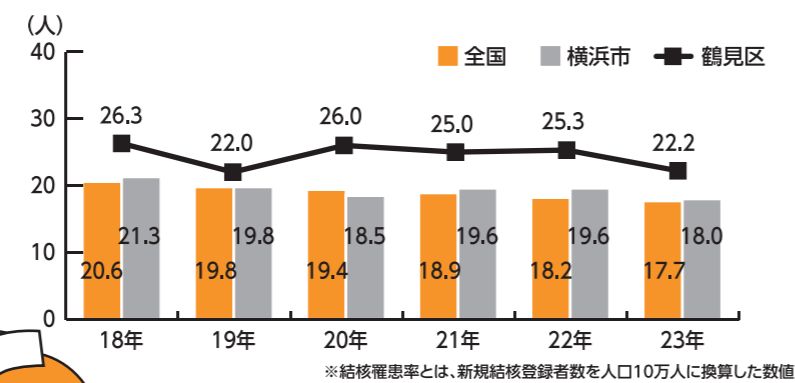
鶴見区の平均寿命(0歳の平均余命)は、横浜市の平均寿命と比べ男女とも約1歳下回っています。

区別生命表:平均寿命 (0歳平均余命) (平成22年)

	男	女
横浜市	80.18	86.63
鶴見区	78.78	85.69
神奈川区	80.10	87.09
西区	79.02	86.37
中区	76.71	85.36
南区	78.36	85.73
港南区	81.19	86.92
保土ヶ谷区	80.04	85.62
旭区	80.41	86.84
磯子区	80.22	87.11
金沢区	81.12	86.94
港北区	80.65	87.19
緑区	80.74	87.02
青葉区	81.65	86.85
都筑区	81.72	87.30
戸塚区	80.57	87.08
栄区	80.09	86.63
泉区	80.75	87.05
瀬谷区	79.66	86.14

結核

鶴見区の結核罹患率は、全国及び横浜市と比べて高く、ここ数年横ばい状態が続いています。約3分の1の方が排菌している状態で発見されており、20~59歳までの働き盛りの人の発症が多い状況にあります。



結核の予防には、栄養バランスのとれた食生活、十分な休息、禁煙など健康管理に注意することが大切だよ！
咳が2週間以上止まらない、微熱が続く等の症状がある場合は、最寄りの内科・呼吸器科を受診しましょう。

資料:鶴見区福祉保健課

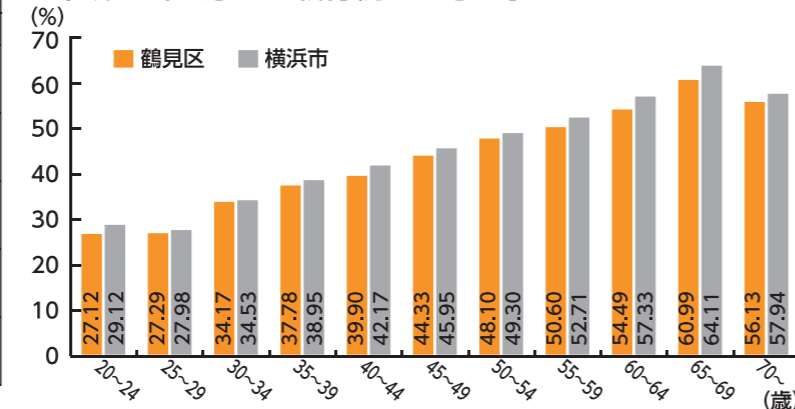
選挙

最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)	
		鶴見区	18区中順位
統一地方選挙(市会)	H23.4.10	44.42	17位 横浜市46.73
参議院議員通常選挙 (神奈川県選挙区)	H22.7.11	53.32	17位 横浜市56.65
参議院補欠選挙	H21.10.25	25.02	18位 横浜市27.78
衆議院議員総選挙 (小選挙区)	H21.8.30	64.36	17位 横浜市68.86
横浜市長選挙		64.26	17位 横浜市68.76

年齢別投票率

平成23年4月10日執行統一地方選挙 (市議会議員一般選挙)



鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が3割をきっており、若年層の投票率の向上が課題となっています。

コラム 鶴見駅は、今年で開業140年を迎えました!

遡ること今から140年前...明治5年(1872年)5月7日、品川・横浜間で鉄道が開通し、仮営業を開始します。その後6月5日、川崎・神奈川両駅が開業しました。そして、約3か月後の9月12日(※新暦では10月14日)に、新橋・横浜間が全通。鶴見駅は、この翌日に、新橋・横浜間の中間駅の一つとして開業しました。

◆ 当時の利用者数は?

開通直後の鶴見駅における利用者数は、一日あたり数十人ほどでした。

一方、140年後の現在のJR鶴見駅の一日平均乗車人員は、76,445人(平成23年度)となっています。また、京急鶴見駅の一日平均乗車人員は13,893人(平成23年度)です。

明治5年の開業から、140年間を経て、時代の流れと町の発展に伴い、鶴見駅の利用者数が増加していったことが分かります。



【明治時代初めの鶴見駅】(横浜開港資料館所蔵)

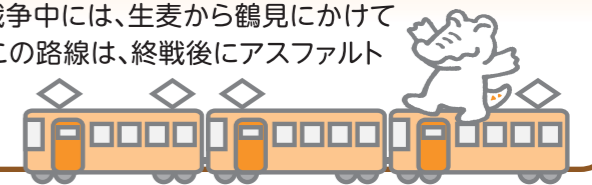
◆ 当時の運賃は?

開業当時の運賃は、新橋・横浜間で上等1円12銭5厘、中等75銭、下等37銭5厘でした。当時は、米価一升(1.5kg)が約4銭であった時代で、お米10kgよりも下等運賃の方が高価であり、一般の人々にとって鉄道は、簡単には利用できないものでした。

~鶴見 鉄道の歴史いろいろ~

JR鶴見線の前身である、「鶴見臨港鉄道」が開業となったのは、大正15年のこと。そして昭和9年に、鶴見駅に乗り入れとなりました。その後、昭和18年に国が買収し、現在に至ります。

その他にも、鶴見には大正14年から、昭和12年まで、總持寺前から川崎大師を結ぶ「海岸電気軌道」が走っていました。また、太平洋戦争中には、生麦から鶴見にかけて市電の路面電車が走っていました。しかし、この路線は、終戦後にアスファルトで埋められ、非常に短期間で姿を消しました。



鶴見駅開業140年の今年、11月1日に駅ビル「シアル鶴見」が開業!!





コラム 鶴見にもお城があった!!

鶴見には、戦国時代の武将・諏訪三河守が築いたといわれる『寺尾城』の遺構があります。お城といっても、天守閣のあるような建物ではなく、砦のような山城であったようですが、寺尾城については、未解明の部分が多く、その全容は謎に包まれています。

代々小田原北条氏に仕える武将であった、諏訪氏が、1575年に滅びるまで、5代にわたり百数十年間、寺尾城に居住したとされています。

横浜市の統計資料を探すなら



横浜市統計ポータルサイト

http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/



横浜 統計

検索

横浜市の最新の人口・世帯数や、主要な統計情報を提供する横浜市のホームページです。鶴見区の過去から現在にかけての人口・世帯数の推移や、主要な統計情報を見ることができます。本書に載せきれなかった情報もありますので、是非、御利用ください。

【画像イメージ】



区別インデックスを
選ぶと区別の
データを見る
ことができるよ!

広告

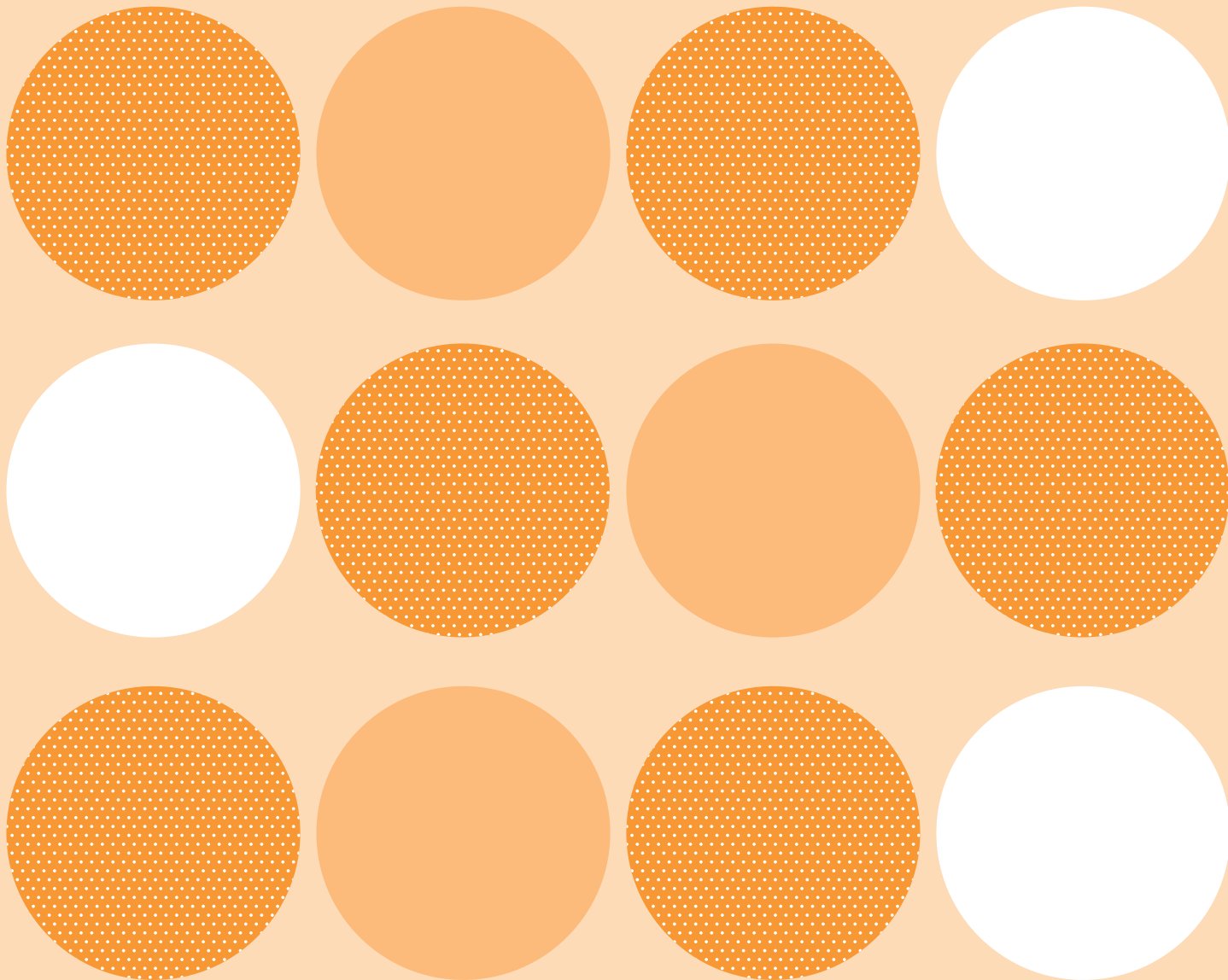
何でも相談できるパソコン教室・駆け込み寺

選べる3つの
授業スタイル
授業者
無料体験
受付中

- ①わからないことだけワンポイントレッスン (回数券) 内容自由設定 最新技術にも対応 ベテラン講師常駐
- ②自分のペースでじっくり学習 (コース制) 初心者大歓迎! 小学生から80才まで在籍中 ワード・エクセル・パワーポイント基礎・応用・オフィス資格取得 デジカメ・ビデオ活用・年賀状作成など ★元開発責任者直伝 ホームページビルダー教室★
- ③お急ぎの方は短期集中 (一日最長6時間) ワード・エクセル・パワーポイント

無料体験受付 電話0120-01-6868

おかげさまで
開校3周年
レアルつくの商店街内
キュリオステーション鶴見つくの店
鶴見区佃野町 34-2
(レアルつくの商店街内)
バス停 佃野町・宮の下・寺谷角・亀甲山
教室案内 HP「キュリオ 鶴見」検索



発行:鶴見区役所 総務課 統計選挙係

横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

電話 045-510-1660

FAX 045-510-1889

<http://city.yokohama.lg.jp/tsurumi/>

